

資料3 まちづくりワークショップ

1 開催目的

小松島市都市計画マスタープランの策定にあたり、地域のまちづくりについて、よりきめ細かく市民の皆さまの意見やアイデアをいただく目的で、まちづくりワークショップを開催しました。

2 開催内容

ワークショップでは、参加者同士がグループを作り、「地域の資源」、「地域の課題」、「地域の将来像」の3つのテーマについて、意見やアイデアを出し合っていたきながら、ワークシートに整理し、参加者の方に発表していただきました。

3 開催状況

下表のとおり、市内12会場で開催し、199名（24班）の方にご参加いただきました。

開催日時（平成24年）	会場（対象地域）	参加人数	班数
7月12日（木曜日） 19時～21時	新開公民館（新開小学校区）	27名	4班
	立江公民館（立江小学校区）	9名	1班
7月13日（金曜日） 19時～21時	櫛淵公民館（櫛淵小学校区）	9名	1班
	坂野公民館（坂野小学校区）	21名	2班
7月17日（火曜日） 19時～21時	南小松島公民館（南小松島小学校区・北部）	14名	2班
	芝田公民館（芝田小学校区）	11名	1班
7月18日（水曜日） 19時～21時	小松島公民館（小松島小学校区）	16名	2班
	児安公民館（児安小学校区）	27名	3班
7月19日（木曜日） 19時～21時	北小松島公民館（北小松島小学校区）	18名	2班
	コミュニティー金磯会館（南小松島小学校区・南部）	24名	3班
7月20日（金曜日） 19時～21時	千代公民館（千代小学校区）	15名	2班
	和田島公民館（和田島小学校区）	8名	1班

4 各地域の結果概要

各地域の結果概要を次項から地域区分別に示します。（地域区分については、P61 地域区分の設定を参照してください。）

まちづくりワークショップ結果(概要)

小松島・南小松島・北小松島・千代地域

- 小松島小学校区
- 南小松島小学校区・北部
- 南小松島小学校区・南部
- 北小松島小学校区
- 千代小学校区

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

- 生活に便利
 - ・日赤病院、スーパー、生活に必要な店などが近くに
 - ・憩いの場（しおかぜ公園など）
 - ・子育てしやすい（学校が近い）
 - ・水曜市や土曜市などの市場
 - ・港中心に商店多い
- 文化財・歴史がある
 - ・神社仏閣（出雲大社、八坂神社、地藏寺、光善寺）
 - ・江戸後期の歴史あり（140年ほど）
 - ・西野家本宅、六田家
 - ・金長たぬぎの生家がある
- 自然
 - ・水資源が豊富（寺の宝寿水、地藏寺の清水）
 - ・山や海が近くにあり景色が良い
 - ・外開川のコイ（二条通り～日赤の向かいまで）
- 地域の絆
 - ・昔からの家が多い、中高年に顔見知りが多い
 - ・公民館活動をしっかりとっている
- 食料うまい
 - ・野菜や魚がうまい
- 人が集まれる施設
 - ・Koccolo、スターシヨンパーク、たぬぎ広場、遊歩道

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

- 自然災害
 - ・避難場所へ道路標識が無い
 - ・神田瀬川南の防災について
 - ・避難場所が少ない
 - ・耐震化が遅い
 - ・川の堤防の高さが低い
 - ・神田瀬川があるので津波の心配
- 都市基盤
 - ・狭い道路が多い
 - ・排水が悪い（大雨で水たまり）
 - ・下水道の整備
 - ・運来橋から南道、通学道、日開野に抜ける道
- 人口の減少
 - ・人口減、空き家、空き地、空き店舗
 - ・他地域からの移住が少ない
 - ・町内の年齢が高齢化している、支える人が少ない
- 産業、商店、工場の衰退
 - ・シャッター街になりつつある中心地
 - ・工場が減少（東洋紡・徳島化工）
- マナーの悪さ
 - ・タバコ、缶の投げ捨て、犬のフンなどマナーが悪い
 - ・川にゴミを捨てる人がいる
- 防犯
 - ・子どもを守るパトロールがない
 - ・街灯が古く、歩行者が危険

地域の将来像（こんなふうになりたいなあ）

- 人が集まるまち
 - ・港にラーメン街をつくる、歩行者天国
 - ・つり場をつくる
 - ・廃屋を利用してテーマ館などで人集め
 - ・二条通りにギャラリーホールをつくる
- 防災施策の充実
 - ・防災に強いまちづくり
 - ・災害対策事業（地元建設業者の確保にもなる）
- 道路整備
 - ・道が新しくなれば商店ができる、バイパスからの道を、日ノ峰山をトンネルで抜き、新浜へつなぐ
- まちなかを高齢者が楽しめるようなまち
 - ・高齢者の保養地として施設や設備を充実する（賭博場、温水プールなど建設）
- 土地利用に取り組む
 - ・借地が多いので新築が進まない、年寄りの住みやすい集合住宅にしては
- 未使用農地の貸出（活用）
 - ・農地の有効利用（貸し農園）
- 企業誘致
 - ・小工場の誘致

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

- 暮らしやすさ
 - ・交通アクセス（JR、徳バス、市バス）
 - ・日赤病院をはじめとして病院が多い
 - ・市の中心地域で何かにつけ便利
 - ・田畑と商店に近い
 - ・学校に近い
- 歴史的な祭り
 - ・花火、太鼓、屋台
 - ・横須の祭り
 - ・蛭子神社祭り
- 地域のつながり
 - ・地域のつながりが深い（祭り、防災、防災、バーベキュー）
 - ・自主防災活動を一緒にしている
- 食べ物がいっぱい
 - ・鱧、竹ちくね、フィッシュカツ、かまぼこなど
 - ・魚が新鮮、おいしい
- 景観
 - ・横須海岸があり、自然豊か

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

- 防災
 - ・津波の避難場所がない（高台）
 - ・横須地区に景観堤防を（金磯地区は完成）
 - ・防災対策情報未提供
 - ・昔の津波、経験分らない
 - ・大雨で道路が冠水、排水が悪い
 - ・避難道路の幅
- 都市基盤
 - ・道路舗装が悪い、狭い
 - ・通学路が狭くて危ない
 - ・駅周辺の整備
 - ・地域に子どもが遊べる広場、公園がない
 - ・競輪場周辺の整備（道路、ごみのポイ捨て）
- 金磯まちづくり
 - ・金磯まちづくりが進んでいない
 - ・市の条例で排水・道路の負担金がある
- 若い人が少ない
 - ・企業が少ない（働き口が少ない）
 - ・横須のほうに人が流れる
- コミュニティ
 - ・地域のつながりが少なくなっている
- 防犯
 - ・警察署が遠くへ行き防犯上不安

地域の将来像（こんなふうになったらいいなあ）

- まちづくり
 - ・老後楽しく安全に暮らせるまち
 - ・駅を中心にコンパクトシティ
 - ・積極的な企業誘致（有名な店など）
 - ・小松島港に海上自衛隊を誘致
 - ・横須海岸の海水浴場の復活
 - ・海釣り公園（横須、金磯海岸）
- 災害に強いまち
 - ・津波避難タワーをつくる
 - ・マンション建築時、避難所とすることを条件に市が一定額補助
 - ・横須町に避難場所を3箇所つくって安心して暮らせるまちづくり
- 競輪場
 - ・市が各地域に向いて防災訓練講座を開催
 - ・競輪の繁栄で税収アップ
 - ・ごみポイ捨て禁止条例の制定
- 若い人が定住できるまち
 - ・働き口の確保
 - ・地主さんの土地問題
- コミュニティ
 - ・人と人のつきあいを深め高齢者、子どもにやさしい地域でありたい

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

- 景観
 - ・横須海岸、金磯海岸
 - ・松林、遊歩道など海岸周辺
 - ・芝生川

■利便性

- ・市役所が近い
- ・病院が近い
- ・徳島市が近い

■魚

- ・魚（鱧）がうまい
- ・魚市場が近い
- ・魚が釣れる

■娯楽

- ・競輪場
- ・パチンコ店
- ・釣り場

■史跡

- ・義経のまち
- ・弁天山

■ひと

- ・人がやさしい

■イベント

- ・毎年お盆に飛鳥II寄港（1万トン岸壁）

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

■道路

- ・道路が狭い、舗装の劣化
- ・旧国道とバイパスを結ぶ道がない
- ・通学路の街灯がない、自転車道の整備

■排水

- ・水路が未改良、下水道の未整備、臭い
- ・ちよとした雨でも浸かる
- ・排水路が草だらけ

■防災

- ・台風、津波の際の避難場所がない
- ・災害時に連絡早く回るように

■金磯まちづくり

- ・問題をあげても通っていかない、地元の要望が通らない
- ・整備基金の説明がなく、うやむやになっている

■公共交通機関の不備

- ・バス停まで遠い
- ・交通の便が悪い
- 産業・商業の衰退
 - ・大きな企業がなく、会社や工場が少ない
 - ・商店街がない、飲食店が少ない

■コミュニティ

- ・住民の一体感が感じられない。祭りがなくなった。

■景観の悪化

- ・海や芝生川が汚い

地域の将来像（こんなふうになったらいいなあ）

■こんなまちに

- ・福祉のまち
- ・若者の集まるまち、人が集まるまち
- ・水に浸からないまち
- ・ごみのないまち
- ・安心して住めるだけで良い

■まちの施設

- ・学校をつくる、大学の誘致
- ・健康づくりの施設があれば良い
- ・福祉や娯楽の施設など多種で多くあれば良い
- ・港公園を充実させる

■自然を活かしたまちづくり

- ・自然エネルギーのまち
- ・海、川がきれいになったらいい（海のレジャー等）
- ・港公園を充実させるまちづくり

■イベント

- ・納涼大会、子ども中心に大人も
- ・競技イベント（トライアスロン）
- ・船上カシノ

■幹線道路の整備

- ・バイパスに通じる大きな道があれば良い

■避難場所の確保

- ・防災公園の設置

■地域の活性化

- ・4万トン岸壁を利用した流通

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

- 自然
 - ・水がおいしい、魚が旨い、緑が多い
 - ・海（小神子）、山（日ノ峰山）、川がある
 - ・川に鯉がたくさんいる
 - ・花みずき、グラウンドの桜がきれい
 - ・港があり景色が良い
- 住みよいまち
 - ・子どもの安全を見守る人がいる（登下校時）
 - ・まち全体が静かで生活しやすい
 - ・何をしても近くに役所や買い物、病院がある
 - ・高齢者が買い物に行ける
 - ・地域のつながりが良い部分がある
- 教育施設・福祉施設・医療施設
 - ・北小松島小学校
 - ・障がい者施設
 - ・日赤がある（安心）
 - ・日赤の後を引き継ぐ病院が多くある
- 公園・スポーツ施設
 - ・市営グラウンド、テニス、ゲートボール
 - ・たぬき広場、遊歩道、金長公園（桜）
- 防災に強い地域
 - ・近くに日ノ峰山があり、散歩や避難所となる

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

- 防災
 - ・避難場所が少ない
 - ・情報伝達（放送）がない
 - ・防潮堤が低く、管理者が不明
 - ・防災マニュアルの提示公開（自由に見れるように）
 - ・避難時（山、ドライブウェイ）車道が避難道、安全不安
- 道路
 - ・道路幅が狭い、対向に難
 - ・メインの道は整備されているが一本中に入れば未整備
 - ・子どもの登校時に自動車危険
- 排水
 - ・大雨時の水はけの不安
 - ・雨が降ると土砂がよく出る、管理の不足
 - ・治山治水ができていない（日ノ峰山）
- 夜が暗い
 - ・公共の街灯が少ない
 - ・旧日赤病院から北側
- 少子化
 - ・子どもの数が減っている
 - ・若い人が少なくなった（若い人が住みやすくなる）
- まちづくり
 - ・若い人の市政参加が少ない
 - ・障がい者にとって安心して住めるまちではない
- ごみ回収
 - ・粗大ごみの収集に高齢者が困っている

地域の将来像（こんなふうになりたいなあ）

- 住みよいまちづくり
 - ・若い人が住みついて欲しい（若い人の特権をつくる）
 - ・子どもを含めて安心のできる安全な地域づくり
 - ・高齢者の交通を確保したまちづくり
 - ・デマンドバスのあるまち
- コミュニティを良くする
 - ・ボランティアさんがいっぱいいるまち
 - ・地区への市からの補助
 - ・ひとり暮らしでも楽しく暮らせるまち
 - ・高齢者と子どもの交流機会をつくる
- 自然を活かしたまちづくり
 - ・花みずきをもっと増やす、ごみのないまち
 - ・小松島の軽井沢に位置つけてほしい
 - ・自然（山）を活かしたくろろぎの地域
- 道路整備
 - ・国道・県道からの枝道が便利なまち
 - ・子育てにやさしい道路整備、安全、安心
- まちづくりの方法
 - ・市民がまちづくりを考え続ける仕組み
 - ・計画を透明化し計画通りにすすめる
- 防災に強いまち
 - ・防災に強い地域のモデルになる
- 企業によるまちの発展
 - ・第二、第三の長楽苑を招こう

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

- 生活しやすい、便利
 - ・交通の便が良い（JR中田駅がある）
 - ・徳島市に近い、自転車でも行ける
 - ・病院など福祉に恵まれている
 - ・大型店でも交通もまずまず便利なのである
- 自然が豊か
 - ・市街地であるが田畑も残り、ゆったりしたまち
 - ・川、山、田園
 - ・地下水がきれい、水がうまい
- 災害に強い面もある
 - ・土地の標高が高い（海抜3.5mくらい）
 - ・台風時の風当たりが少ない
- コミュニティが強い
 - ・協力的で理解がある人が多いように思う
 - ・人と人との和、ふれあい（絆）
- 歴史的な祭り、行事がある
 - ・秋祭りにみこしがでる
 - ・伝統のある有名な神社仏閣がある良地域である
- イベント
 - ・みなとまつり、阿波踊り、花火大会
 - ・花火師サンタ生誕地
- 和の心、信仰心
 - ・お地藏さんが多い

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

- 都市基盤整備
 - ・道路が狭い、段差、信号が少ない
 - ・通学道路（小学生）を整備してほしい
 - ・都市計画道路の見直し
 - ・雨水対策が必要
 - ・水路の維持管理（下水道がないなど）
 - ・市街化農地の縦が高いのにインフラ整備ができていない
- 防災面の不安
 - ・土砂災害の危険がある
 - ・避難場所の確保ができていない
- 特産物がない
 - ・特に良い産物がないので地域を悪くしている
- PR不足
 - ・郷土の伝統平和産業、阿波花火を知らない。広報
- コミュニケーションが希薄になってきている
 - ・昔と違って町内グループが無く、人間関係が希薄
- 行事の減少
 - ・祭りなど廃れつつある、伝統行事をもっと大切にすべき
- 産業、商業の衰退
 - ・空き家が増加し、地価も低下傾向が顕著
- 少子高齢化
 - ・高齢者世帯が多く、小学生等が少ない（地区内の奉仕活動も不十分）
- 防犯
 - ・街灯を多く

地域の将来像（こんなふうになったらいいなあ）

- 災害に強いまちづくり
 - ・防災設備、地震警報の広報、マイク放送
 - ・防災避難所の確保
 - ・日ノ峰山一体を大公園に
- 住宅地としての発展
 - ・土地の標高が高いので住宅地としていい
 - ・他のまちからもきてほしい
- 土地の有効利用からまちづくり
 - ・人口が減るので立ち退いた土地を公園などの地区の遊び場にする
 - ・住宅地と商業地の区分け
- 安全で安心できる笑い声の絶えない国際的なまちづくり
 - ・安全で住みよいまちにしたい
 - ・外国人と仲良く。千代は国際的なまちをめざそう
- 働けるまち
 - ・若い元気な人が働ける場
- 便利なまち
 - ・大型店舗来てほしい
- 農業からのまちづくり
 - ・農と見える優食人種を増やす
- 情報キャッチの意識
 - ・市民の情報をキャッチできる行政

まちづくりワークショップ結果(概要)

児安・芝田地域

○児安小学校区

○芝田小学校区

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

- 自然
 - ・水がきれいでおいしい
 - ・ほたるがいる
 - ・昔ながらのどかな風景
 - ・山、川があり自然に恵まれている
 - ・石垣用水
 - ・清浄ヶ池
- 住みよいまち
 - ・県都に近い
 - ・買い物に行くのが町に近い
 - ・静かである
 - ・北へ南へ移動に最適
 - ・車の通行量も朝を除き少なく静か
- 農業
 - ・お米がおいしい
 - ・田んぼが多い
- 歴史
 - ・（新居見遺跡）古墳
 - ・高瀬船（勝浦町横瀬～佐古）
- コミュニティ
 - ・良い人柄の人が多い

ワークショップの主な意見・アイデア

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

- 通学路、道路
 - ・県道小松島佐那河内線の交通対策
 - ・道が狭い、歩道なし、子どもが通学していて危険
 - ・ダンブが走りすぎに穴があく
 - ・4m道路（市道）、対面交通、簡易舗装、未舗装
- 水路整備
 - ・川に草が多く生えて水の流れが悪い
 - ・石垣破壊、修復がそれぞれ
 - ・下水がない
 - ・雨水排水対策
- 河川整備
 - ・防災関係で西原堰の老朽化
 - ・河川道路の整備が不足
 - ・勝浦川の強化、防災対策
 - ・昔のままの箇所があり危険
- 少子化
 - ・子どもが少なくなった
 - ・子どもの遊ぶ場所がない
- 交通機関
 - ・公共交通不便
- 商店
 - ・店が無く不便
- コミュニティ
 - ・疎遠、人づきあいが難しくなった

地域の将来像（こんなふうになったらいいなあ）

- 地域住民が安心できるまちづくり
 - ・ホテルのいる静かなまちでほしい
 - ・ランニング、ウォーキングコースがほしい
 - ・防犯活動に力を入れる
 - ・自然公園があるまち
 - ・子どもが多いまち
 - ・子どもが安心して住めるまち
 - ・防災堤防の補強で安全なまち
- 道路
 - ・県道小松島佐那河内線の整備
 - ・地域住民が安心できる道路づくり
- 農業振興
 - ・ほ場整備
 - ・農業の発展とか特産品開発
- 地域の憩いの場
 - ・水を活かした公園をつくる
 - ・焼却炉を利用し、温泉をつくる
- 大都会との交流
 - ・都市との交流
- IT
 - ・企業の立地、IT企業
- 日本のまちづくり
 - ・日本一のものをつくってほしい

ワークショップ開催の様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

- 自然
 - ・緑豊か
 - ・水が豊富、水がきれい
 - ・山に沈む夕日が絶品
 - ・星がきれい
 - ・野鳥が多い
 - ・里山が近い
 - ・田園風景が良い
- 文化・歴史
 - ・十八番丸所 恩山寺（歴史ある三番そうが続いている）
 - ・無形文化財の踊り
 - ・源平史跡（日本一大きい義経塚がある）
- 交通
 - ・県庁から車で20分
 - ・交通の便がよい
- 食品・食料
 - ・たけのこ
 - ・阿波牛（肉牛）
- 教育
 - ・小学校がある
 - ・そろばん塾の発祥

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

- 河川
 - ・河川はあるが、ほたるが住めない
 - ・河川の早期改修
 - ・水害対策
 - ・水の流れが悪い
- 山の保全
 - ・竹林で山の動物が農地に下りてくるのが困る
 - ・山が竹林化している（広葉樹が少ない）
 - ・竹林で自然災害が心配
- 道路
 - ・二車線道路がない
 - ・街灯が少ない（道路が暗い）
 - ・高速道路で大きく変わってしまう不安
- コミュニティ
 - ・人口、若者が少なくなっている
 - ・個人個人は良い人だが集団になると人が変わる
 - ・閉鎖的（人間関係）である
- 後継者不足
 - ・20年先の地域の姿が不安、計画がない
 - ・20年後には農業生産がどうなっているか（やり手不足）
- 高齢者にとって遠い買い物
 - ・公共交通不便（バスの便が悪いなど）
 - ・買い物に不便

地域の将来像（こんなふうになったらいいなあ）

- 子どもが地域で残れるような場を
 - ・早く小学校の位置を決定する
 - ・教育関係の誘致
 - ・地元で雇用の場がほしい
 - ・子どものための公園
 - ・住宅地を多くする
- 農業を活かしたまちづくり
 - ・義経塚や伝承を利用した市場づくり
 - ・休耕地を利用した市民農園
 - ・農業、野菜の団地化を進める
 - ・農業法人を増やして若い人の就労を増やす
- 災害に強いまちづくり
 - ・自然災害に強いまちづくり
 - ・防災公園兼自然公園、避難場所
 - ・地震災害に強い地の利を活かしたまち
- 自然
 - ・清流を残していきたい
 - ・自然が残っているまち
- 予防医療のまち
 - ・日赤を核とした安心安全なまちづくり
 - ・予防医療に役立てるハイキングコース（磐合～新居見、竹林散歩）

まちづくりワークショップ結果(概要)

坂野・和田島・新開地域

- 坂野小学校区
- 和田島小学校区
- 新開小学校区

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

- 住みよいまち
 - ・徳島に割と近い
 - ・静かでのどかな農村地帯
 - ・工場がなく、空気がきれい
 - ・治安が良い
- 自然環境・農産物
 - ・海あり、平野あり、山あり
 - ・お米
 - ・野菜（トマト、キュウリ）
- 行事
 - ・子どもの運動会と町民運動会を合同で開催している
 - ・地域の祭りが残っている
 - ・学校の運動場を開放している
- 教育・子育て
 - ・子どものいる家庭が多い
 - ・少年野球チームがある
- まちの整備
 - ・通路が良くなりつつある
 - ・水道の整備ができています
- 災害に強い地域
 - ・災害の被害が少ない
- コミュニティ
 - ・人柄が良く、人と人とのつながりが深い

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

- まちの発展
 - ・調整区域なので宅地化がしづらく人口が増えない
 - ・住居の区画整理により見た目を美しくすればいい
 - ・子どもが少なく人口が減少
 - ・企業が少なく雇用の場がない
- まちの整備
 - ・通学路が危ない
 - ・用排水路の改善、下水道がない
 - ・公園と街灯が少ない
- 学校
 - ・小中学校の設備改善、耐震化
 - ・学校統合はしないでほしい
- 農業振興
 - ・地場産業の育成が必要
 - ・朝市の開催など農家の協力体制の強化
- コミュニティ
 - ・結婚活動支援が必要
 - ・町内会等の組織の充実が必要
- 自然災害
 - ・雨が降ると水がすぐにたまる
 - ・津波に弱い（避難場所、避難路がない）
- 公共交通
 - ・市バスのルート、便数改善、市バスをやめないで

地域の将来像（こんなふうになったらいいなあ）

- 安全安心
 - ・津波で心配のないまち
 - ・防災施設の充実
 - ・安全、快適、歩きながら話ができる
- 自然、農業
 - ・有機農業（無農薬）
 - ・美しい自然と調和したまち
 - ・豊かな田園風景を残したい
- 人口増加、経済
 - ・企業誘致、商業施設誘致、植物工場誘致
 - ・農地を宅地化、ベッドタウン推進
 - ・若者が希望を持って住めるまち（地域雇用）
- 住みよいまちづくり
 - ・高齢者の住みやすい場所のあるまち
 - ・団地住宅を増やすなど住宅地域に
- 地域の学校の必要性
 - ・地元へ学校があり、歩いて通学
 - ・人材育成の総合的教育機関
- 公共交通
 - ・市バスにどこでも乗れる（コミュニティバス）
- コミュニティ
 - ・地域の祭りが充実し人々が深い交流

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

- 環境が良く住みやすい
 - ・歩行者、自転車目線で楽しめる環境
 - ・海が近く釣りに行ける
 - ・高齢者に便利な交通がある（路線バス）
 - ・4万トン付近はウォーキングに最適
 - ・ニュータウンの下水の完備
 - ・車の事故が少ない
 - ・静かなまち
 - ・野球場、グラウンドがある（あいさい緑地）
 - ・海岸道路がとても景色がきれい（海岸線）
- 海産物がおいしい
 - ・釜揚げがおいしい
 - ・アジ、サバの釣りが楽しめる海的环境
- 漁業・農業
 - ・漁業がさかん（バッチ網漁船が県下一の数）
 - ・農業がさかん
- 防災・耐震、防災の安心感がある
 - ・耐震強化岸壁「赤石埠頭」
 - ・道路（幹線）が広い
- 自衛隊がある
 - ・目印、ランドマークとしての自衛隊
 - ・財政のメリットがある
- コミュニティ
 - ・住民のきずなが深い

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

- 都市基盤
 - ・道路が悪い（舗装劣化）
 - ・交通の弱点が存在（太田橋に一点集中など）
 - ・再度フェリーポートを発着してほしい
 - ・排水が悪いため悪臭、腐敗臭
 - ・和田島坂野線の用水路はごみが多く困っている
- 地域活性化
 - ・ふれあいイベントがない
 - ・イベントの空間、予算がない
 - ・ボランティア活動が知られていない（市の協力がほしい）
 - ・働く会社が少ない
 - ・地場産業が振るわない（漁業）
 - ・飲食店がほとんどない
- 防災対策
 - ・高台が少ない、避難場所が少ない（津波）
 - ・津波に自衛隊のバックアップがあるか心配
 - ・防衛堤が古い（防災・津波が心配）
 - ・防災視点で道路が未整備、バイパス化（道路の建設）
 - ・浸水が多い
- 交通が不便
 - ・バスの運行が2時間に1回
 - ・駅から遠い、駅までの交通手段
 - ・高齢者の方の買い物物が不便
- 和田島の北部について通信が難しい
 - ・遠見では携帯がつながりにくい

地域の将来像（こんなふうになりたいなあ）

- 和田島の特性を活かしたヒトモノづくり
 - ・景観美を県外にPR
 - ・新しい海洋事業、観光事業の開発
 - ・レジャー船の係留で活性化できる
 - ・貯木場の有効利用
 - ・漁業と観光の共存共栄化
 - ・産直レストラン、産直市場
- 防災のまちづくり
 - ・災害の心配が少ない海が近いまち
 - ・災害に強いまち
 - ・防災タワーをランドマークにしたまち
 - ・海岸沿いに防災タワーを設置
- 水産業、農業のまちづくり
 - ・漁業、農業を活用したまちづくり
 - ・6次産業化（さずなを活かして）
- 子育て
 - ・子どもが多く集まれる場所づくり
 - ・子育て世代の増加
- まちづくりの方法
 - ・人の力を集結したらもっと伸びる（協働）
 - ・まちづくりの話し合いが続くことが大切
- 高齢者にやさしいまちづくり
 - ・高齢者の移動手段が大切（循環型バス）
 - ・公営バスの小型化

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

■交通・利便性

- ・バイパスが近くにあり、移動ができる
- ・JRの赤石駅が近くにある
- ・買い物などが便利になっている
- ・市バスが通っている
- ・陸路、水路、空路が便利

■コミュニティ

- ・何かあると小学校に集まる
- ・住民の絆が強い
- ・誰とでも話ができる
- ・昔から農家が多い

■自然

- ・海、山、風景良し
- ・田園風景がよい
- ・緑が多い
- ・水が旨い

■食品、食材

- ・良質のちりめん、わかめは種類が多い
- ・魚、肉、野菜、何でも手に入る
- ・農作物（特にお米）が美味しい

■学校・施設

- ・いつでも利用できる
- ・赤石に体育館、グラウンドがある

■企業

- ・大きな企業ある（工場等）
- ・コンテナヤードがあり、輸出・輸入で市財政に貢献している

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

■自然災害

- ・高台に新たな宅地を作る
- ・新耐震にダメ（新開小学校）
- ・避難場所がない
- ・堤防がない（赤石港から和田島港まで）
- ・遊水池が少ない
- ・最近のハザードマップでは、住宅地は水没してしまう
- ・現在の市街化地域に家を建てるか？（震災、津波）

■都市基盤

- ・昔からの街並みでインフラ等の整備ができていない
- ・用水路の排水が悪い
- ・下水道の整備
- ・県道、市道の拡幅
- ・歩道の高低差（車の進入路）がある
- ・通学路が狭く、危険

■線引き

- ・線引きを見直し
- ・都市計画そのもの見直し（抜本的に）
- ・市街化調整区域での問題がある（税金面、住宅がでない）

■交通

- ・バスの本数が少ない
- ・市営バスが廃止されたら移動手段がなくなる

■まちの施設

- ・景観が壊れるため必要がない
- ・新設の同種の商業施設が多い

地域の将来像（こんなふうになったらいいなあ）

■災害に強いまち

- ・情報が多い（環境）
- ・計画の見直し（津波につかる）
- ・避難シェルター（地下）
- ・赤石山を開発して、市役所、消防署、ヘリポートを建設
- ・津波避難タワーの設置
- ・住宅地を新たに高台につくる
- ・人のつながりを活かし、助け合いや協力できるまち

■活気のあるまちづくり

- ・若い人が地域に関心を持つイベント
- ・各町内でシンボルを設置
- ・ふれあいのある明るいまち
- ・住みやすく人が集まってくる地域

■誘致

- ・企業誘致
- ・一流大学（教育機関）の誘致
- ・集客力のある商業施設の誘致
- ・開発可能な地域にしてみたい

■港湾整備

- ・港の整備と有効利用による活性化
- ・赤石港の整備（ヨット、プレジャー等）

■自然

- ・自然と調和のとれたまち

まちづくりワークショップ結果(概要)

立江・櫛渕地域

○立江小学校区

○櫛渕小学校区

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

■地域のシンボル（歴史、文化）

- ・八十八箇所の礼所立江寺
- ・立江寺のライトアップ
- ・筒花火、花火工場
- ・秋葉神社の天狗しばき

■自然がある

- ・たけのこ（竹）
- ・公民館前の香の桜
- ・稲作

■特産品

- ・やまもも
- ・椎茸工場

■公園・散歩道

- ・立江川親水公園、ふれあいセンター立江
- ・ミ二八十八箇所

■人が集まる

- ・JA あいさい広場（産直市）
- ・病院がたくさんある

■コミュニティ

- ・子どもの笑顔
- ・人間性が良い

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

■都市基盤

- ・道幅が狭い（歩道、商店街、さぎ橋などもなど）
- ・下水道の整備
- ・案内板がない（少ない）
- ・公園で遊ぶものがない

■衰退

- ・少子高齢化
- ・学校統合で子どもこのれから心配
- ・若い人がいなくなる
- ・人が寄るような施設がほしい（住宅、学校）
- ・店が遠く、商店がほしい（小型マーケット）

■安心安全（防災・防犯）

- ・橋（さぎ橋）が古い。早く架け替えを
- ・洪水になる
- ・街灯が少なく暗い。夜のまちなみが暗い

■バス

- ・市バスは小型バスで良いと思う
- ・ルートと行きたい所が合っていない

■土地利用

- ・規制緩和をしてほしい（農地転用）

地域の将来像（こんなふうになったらいいなあ）

■便利で住みよいまち

- ・高齢者が住みよいまち（病院、食料品店がある）
- ・総合型大型店舗誘致
- ・小中学校、役所、郵便局、農協、公民館を残してほしい
- ・高齢者と子どもが遊べるまち
- ・子どもが安心して遊べるまち
- ・高齢者が住みよく観光客が寄ってくれるまち（脇町のうだつのまち）

■今あるものを活かす

- ・きれいな田舎
- ・フレンドリーでみんなが知り合い
- ・寺を中心として楽しめるまち
- ・昔からの知恵や工作物を伝える

■外からの人

- ・県外の人を楽しめるまち
- ・多くの人が交流できるまち
- ・お遍路さんに安心されるまち

ワークショップの様子

写真：①（参加者どうしの意見交換）



写真：②（グループワークシート）



写真：③（参加者による意見発表）



ワークショップの主な意見・アイデア

地域の資源（地域の良いところ、自慢できることなど）

- 自然・農産物
 - ・豊かな風景、自然環境（山、川、田）
 - ・四季を通じて特産物が豊か
 - ・空気がおいしい
 - ・鳥が多い
 - ・竹、竹林、たけのこ
 - ・竹チップ（有機農業用資材・竹炭利用）
 - ・農作物（生しいたけ、お米、やまもも、くだもの）

■コミュニティ

- ・人情が厚い
- ・穏和な気質
- ・豊かな人間性
- ・長寿
- ・教育熱心

- ・小学校の児童があいさつをよくしてくれる
- ・榑瀨青年団の歌がある

■すばらしい歴史

- ・神社（清水）
- ・祭りが多い
- ・敬義祭（三世帯交流）

地域の課題（地域の良くないところ、改善したいところなど）

■利便性

- ・学校がなくなっていく
- ・街灯がなく夜道が暗い
- ・雨が降ると大変、排水が不十分
- ・光ケーブルがない、情報化が遅い
- ・病院がない
- ・買い物 불편（羽ノ浦が一番近い）

■コミュニティ

- ・若者連との交流がない
- ・若者の集いの場がない
- ・ボランティア精神が薄い、人材が少ない
- ・公民館の活動を知らせて
- ・サークルがない

■少子高齢化

- ・子どもが少ない
 - ・晩婚化
 - ・独居老人が多い
- 自然環境の整備
- ・マムシ、ハミがいる
 - ・休耕田の管理が不十分（イノシシ、シカ）
 - ・山の保水力が足りない

■巡回バスが必要

- ・交通の便が悪い（バス）

地域の将来像（こんなふうになったらいいなあ）

■自然・農産物を活かす

- ・自然環境を維持した農業を中心とした活力あるまち
- ・菌床しいたけ日本一の地区を利用
- ・バイパス沿いに桜並木
- ・自然エネルギーを利用する南斜面
- ・農産物の加工
- ・榑瀨に産直市
- ・第一次産業として有機農法をする

■少子高齢化対策

- ・人口増
- ・若者のまち
- ・晩婚・非婚をなくす
- ・子どもが多くなって活気が出る

■コミュニティ

- ・花のある集いの場づくり
- ・コミュニティによる安全安心なまち
- ・健康づくりを榑瀨で

■人材を活かすまち

- ・人材バンクをつくる
- ・退職した人が次の世代に伝えていく

■情報の発信

- ・ブログ・ホームページをつくって榑瀨を紹介
- ・他のまちからの移住